

## ジェットスプレー防水システムとは…

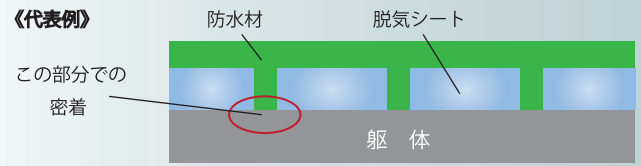
例えば 500 m<sup>2</sup> の陸屋根を改修工事する場合、J S システム工法を採用すると、1 日で下地処理からトップコートまで施工可能なので、大幅な工期の短縮ができます。

### ◇従来の工法

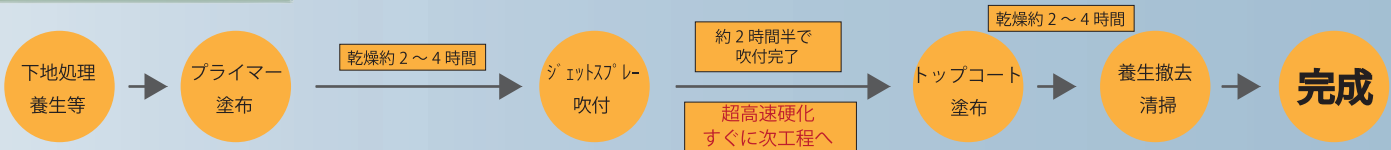


- 防水材の硬化に時間がかかり、脱気シートや脱気筒の処理に非常に手間がかかる。また、刷毛やローラー塗りのため、大面積施工には多くの人員が必要。
- 脱気シートが不可欠なため、防水材自体は脱気シートに開けられた穴の部分でのみ下地と密着している『準密着』にしかならない。
- 現実的には1日当たり6~10人程度の作業員が施工し、養生期間を含めると平均4日以上かかる工事となる。

#### 《代表例》

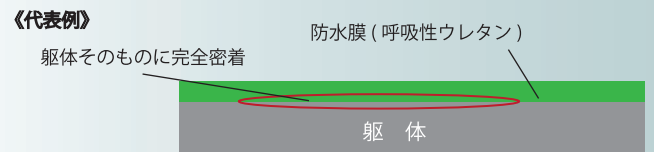


### ◇ジェットスプレー工法



- 防水材の硬化が早いので、最低限の作業員で施工が可能。また、このマシンによって作り出される『呼吸性ウレタン』の高性能は、脱気シートや脱気筒を不要とし、防水層が全面下地と密着している『完全密着』となり、防水性能及び躯体強化に対する効果も驚くほど高い。

#### 《代表例》



## J S システム工法

超高性能防水システムをレンタル!!

J S システム工法はジェットスプレー工法の高い施工性を究極にまで高めた画期的な商品です。

車両に全自動コンピューターと材料供給用大型タンクを搭載し、2本のホースを同時に稼働させることを可能にしました。

### ■ 抜群の作業性

ダブル吹付方式の実現により、1時間で約200 m<sup>2</sup>の施工が可能。また、予め材料をタンクに注入（最大1,200ℓ）しておけば、車両を移動させながら施工することが可能なため、従来のように材料を注ぎ足しながら作業する必要がありません。

### ■ 環境にも優しい

材料はドラム缶も対応できるため、空き缶の発生を低減し、廃材を大幅に削減することができます。

### ■ 最小限のマンパワーで最大限の施工

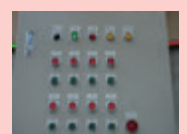
材料の供給量や温度管理は全てコンピューター制御。また、空き缶等の処理に時間を費やすことなく防水施工そのものに徹することができます。機械化施工のため、従来のような作業員は必要ありません。

### ジェットスプレー システム車 【特開 2005-9143】



#### システム車仕様

構造	4 t 車両搭載型 高さ 298 cm・長さ 620 cm・幅 222 cm
発電機	50Hz：出力 20KVA/ 三相 200V/ 単相 100V
コンプレッサー	空気量 1.4m <sup>3</sup> /min
エアドライヤー	50Hz：処理空気量 1.5m <sup>3</sup> /min
操作盤	発電機：コンプレッサー・エアドライヤー以外の機器抑制
メインタンク容量	主剤 600 ℓ・硬化剤 600 ℓ
液送ポンプ	操作盤制御式 ダイアフラムポンプ
ヒーター	操作盤制御式 温度設定：手動ダイヤル設定式
保温タンク容量	主剤 65 ℓ・硬化剤 65 ℓ
供給タンク	操作盤制御式 ダイアフラムポンプ
混合タンク	100:100 温度設定：手動ダイヤル設定式
標準吐出量	3 ℓ/min (2 液あたり)



【施工能力 1,000 ~ 1,200 m<sup>2</sup> / 日】